日本病理学会　認定・登録施設

責任者　各位様

日本病理学会　学術評議員

厚生労働省　希少がん医療・支援のあり方に関する検討会　構成員

佐々木毅

日本病理学会　コンサルテーション委員会　委員長

松野吉宏

**病理診断コンサルテーション等、希少がんの病理診断に対する**

**国の支援政策についてのアンケート**

現在、「希少がん医療・支援のあり方に関する検討会（厚生労働省健康局　がん対策・健康増進課：座長　堀田知光　国立がん研究センター理事長）」で、「希少がんの病理診断に対する支援」が検討されております。これまで4回の検討会が終了し、具体的には①日本病理学会および国立がん研究センターの「病理コンサルテーションシステム」に対する支援、②希少がん病理診断に対する病理医の育成に対する支援が固まってまいりました。

この件に関して現状把握と皆様のお考えを伺いたく、下記アンケートにご回答くださいますよう、ご協力の程何卒よろしくお願いいたします。返信は日本病理学会事務局へ「希少がんアンケート」としてご返信ください。

なお、回答期間が非常に短く大変に恐縮ですが、出来ればすべてのご施設からのご回答を希望いたします。よろしくお願いいたします。

　また常勤病理医不在登録施設に関しては、代理の方がご回答くださいますようによろしくお願い申し上げます。

　＊回答は原則、１施設1回答でお願いいたします。

アンケート締切：**5月29日（金）　17時**

返信先アドレス：**jsp-admin@umin.ac.jp**

（やむを得ない場合はFAX、郵送でも受付けます）

〒113-0034　東京都文京区湯島1-2-5　　聖堂前ビル7階

FAX　**03-6206-9077**

内容に関するお問い合わせは、構成員　佐々木毅までお願いいたします。

メールアドレス：takesasa@m.u-tokyo.ac.jp

以下、アンケート（メール返信ご回答の場合には該当するものに〇印あるいは、該当以外を削除する形でご回答ください。FAX送信の場合は〇印でご回答ください）

**１．貴施設に関する情報**

　（１）　施設名

　（２）　所属支部　ア．北海道　イ．東北　ウ．関東　エ．中部　オ．近畿

カ．中国四国　　キ．九州沖縄

　（３）　施設種別

　　　　　ア．日本病理学会　認定施設　A

　　　　　イ．日本病理学会　認定施設　B

　　　　　ウ．日本病理学会　認定施設　S

エ．日本病理学会　登録施設

　　　　　オ．わからない

　（４）　該当する病院種別（関係するものは削除せず残してください。わからない場合

　　　　は頭に「？」を付記してください）

　　　　　ア．大学病院（本院）　　　　　　イ．大学病院（分院）

　　　　　ウ．がんセンター（名称に「がんセンター」を含む病院）

　　　　　エ．臨床研修指定病院

　　　　　オ．都道府県がん診療連携拠点病院

　　　　　カ．地域がん診療連携拠点病院

　　　　　キ．がん診療病院　　　　　　　　ク．へき地医療拠点病院

ケ．へき地中核病院　　　　　　　コ．へき地医療支援病院

　（５）　病床数　　　（　　　　　　）床

　（６）　病理診断体制（すべての施設、下記の2問とも回答してください。なお病院

の病理部門所属ではない大学講座からの支援は「非常勤」扱いとして下さい。非常

勤は半日、複数日でも1個人につき「1名」とカウントしてください）。

　　　　　＊常勤病理医　　　　（　　　　）名　または　　不在

　　　　　＊非常勤病理医　　　（　　　　）名　または　　不在

**２．バーチャルスライドを用いた病理診断コンサルテーションに関して**

（７）　バーチャルスライドスキャナーの保有状況

　　　　ア．保有済　　　イ．未保有　　　ウ．保有予定あり（確定している場合のみ）

（８）　（７）で未保有と回答した施設に伺います。国が半額補助（ただし上限500万

円）した場合、購入可能だと思われますか？

ア．　可能　　　　　イ．不可能

ウ．　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（９）　病理医が非常勤あるいは1人病理医である病院に、バーチャルスライドスキャナー（高画質モニター込）を配置することは、希少がんの診断の支援につながると思いますか？

　　　　　ア．思う　　　　　　イ．思わない

ウ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（10）　バーチャルスライドスキャナーを配置することにより、特に希少がんなどでは診断の精度が向上すると思いますか？

　　　　　ア．思う　　　　　　イ．思わない

　　　　　ウ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（11）　仮にバーチャルスライドスキャナーを配備した場合に、病理診断に活用される可能性はどの程度あるとお考えですか？

　　　　　ア．　大いに活用される　　　　　イ．あまり活用されない

　　　　　　ウ．　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**３．病理診断コンサルテーションに関して（体制等に関して）**

（12）　検討会では「コンサルテーションに診療報酬をつけて、コンサルタントには診

断意見ではなく、診断を求めるべきである」との意見が出されました。これに関し

てはどのようにお考えですか？（免染などの実費補助は別途掲載）

　　　ア．診療報酬をつけて「診断」として扱われるべき（診断の責任をコンサル

タントである病理医が負う）

　　　イ．診療報酬はつけずにあくまで「意見」として扱われるべき（最終診断の

責任はコンサルテーションを依頼した病理医が負う）

　　　ウ．「診断意見」として扱うが、何らかの報酬はつけるべき

　　　エ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（13）よく利用するコンサルテーション先は？（1つのみ）

ア．日本病理学会本部のコンサルテーションシステム

イ．日本病理学会支部のコンサルテーションシステム

ウ．国立がん研究センター病理診断コンサルテーションシステム

エ．専門家個人に直接

オ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（14）コンサルテーションシステムがより利用しやすく改善されれば、希少がんの

病理診断精度は向上すると思いますか？

ア．大いにそう思う

イ．どちらかと言えばそう思う

ウ．どちらかと言えばそう思わない

エ．そう思わない

オ．どちらともいえない

　　　カ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（15）日本病理学会コンサルテーションシステムで改善すべきと思われる点は？

（複数回答可)

ア．依頼手続きを簡便化して欲しい

イ．依頼と報告を自動化して簡略化、迅速化すべき（自動化システムの開発）

ウ．コンサルタントの数を増やすなど、より充実させるべき（専門医のサブスペシャリティー登録データの活用）

エ．報告までの所要時間を短縮して欲しい

オ．記述がわかりにくいので、報告内容を改善して欲しい

カ．特定のコンサルタントへの集中を回避するため、病理情報ネットワーク

センターの会議室機能等を活用すべき

キ．料金が高い

ク．未染標本が作製できない微小検体も多いので、顕微鏡画像（バーチャル

画像）だけの相談を受けてほしい

ケ．改善すべきことはない

コ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（16）国立がん研究センターコンサルテーションシステムで改善すべきと思われる点は？（複数回答可)

ア．依頼手続きを簡便化して欲しい

イ．依頼と報告を自動化して簡略化、迅速化すべき（自動化システムの開発）

ウ．コンサルタントの数を増やすなど、より充実させるべき（専門医のサブスペ

シャリティー登録データの活用）

エ．報告までの所要時間を短縮して欲しい

オ．記述がわかりにくいので、報告内容を改善して欲しい

カ．特定のコンサルタントへの集中を回避するための工夫等を考えてほしい

キ．未染標本が作製できない微小検体も多いので、顕微鏡画像だけの相談を受け

てほしい

ク．改善すべきことはない

ケ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（17）　希少がんの診断に必要な免疫染色・遺伝子検索等にかかる実費について

　　　　　ア．診療報酬上の仕組みが必要である

　　　　　イ．公的研究費等から償還されるべきである

　　　　　ウ．特に仕組みは必要ではない

　　　　　エ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（18）　複数のコンサルテーションシステムがありますが、最終的に特定のコンサルタ

ントに依頼が集中する傾向があり、大きな負担になっているとの指摘があります。

これに関して何か対策案等がございましたら、下記にご記入ください。

＜記入欄＞

３．以下、コンサルタントの先生方に伺います（複数の先生がいらっしゃる施設では

可能でしたら、欄を増やして複数の先生のご回答をお願いいたします）。

（19）コンサルテーションの担当臓器は　（　　　　　　）

　　（20）コンサルテーションの年間件数は（直近の実績）（　　　　）件

　　　（21）コンサルテーションを受託していることに関して病理医側の協力体制、理解

　　　　　はどうなっておりますか？

　　　ア．好意的に受け止めてくれている

　　　イ．理解を得ることが難しい

　　　　　　　ウ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　（22）コンサルテーションの際に生じる経費（免疫染色や遺伝子検査などの費用）

はどのように処理されていますか。

ア．病院が負担している

イ．講座等の研究費などを利用している

ウ．個人的に負担している

　　エ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（23）コンサルテーションを受託するに当たり体制に関して（複数回答可）

　　　　ア．病理医の増員が認められた

　　　　イ．事務員の増員が認められた

　　　　ウ．検査技師の増員が認められた

　　　　エ．インフラの整備が行われた

　　　　オ．特別な措置は行われていない

　　　　カ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（24）コンサルテーションを依頼されることに関して

　　　　ア．負担には思わない　　イ．負担である

　　　　ウ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（25）コンサルタントの立場からコンサルテーションをより良いものとするために

必要と考えられる改善点や国の支援などご意見がございましたら下記にお答え

ください。

＜記入欄＞